

H 1 5 事業評価中間公表への市民意見検討経過調書

対象事業名	市長室開放事業	事業CD	T 1 4
担当部課	企画財政部市民の声を聴く課	部長氏名	野 昭夫

意見の要旨	最終評価への反映状況	左の理由	関係協議部署
「5事業の成果」として、14年度の来訪者延べ人数が目標値の約6割の達成率であるならば、総合評価は「C」ではなく「B」でよいのではないか。	反映しない。	この事業は、毎月、第2週ないし第3週の水曜日午後に固定化されており、利用しづらい面もある。より参加しやすい工夫はないのか、広報以外の有効な市民PRの手法がないのかなど、検討すべき点もあることから「C」とした。	事業評価会議での検討(1/15) 市長・助役ヒアリング(1/28)
参加したくても中々できないのが実態である。そこで新たな試みとして、市長の「招待制」を提言する。もちろん、公募を前提にして、そのほかに年間計画を立て、色々な方面の人達を招待し、交流を深めるべきである。このような機会があれば、訪問者が増えると思う。形式ではなく、実質を取るべきである。	一部反映できるよう検討したい。	来訪者数のみで、この事業の全てを評価することは出来ないが、より多くの市民に利用してもらえる工夫は必要である。月単位だけではなく年単位で参加者を公募する仕組みについても検討する。	